

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957) 49-8050 (代) FAX (0957) 49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和2年度 長崎県看護協会新役員の紹介 会長あいさつ/業務執行理事/理事・監事	2~3	病児病後児保育サポートセンター 看護師募集	8
地区支部だより	4~7	令和2年度 三職能合同交流会のご案内	8
令和2年度 看護事業功労者知事表彰	7		

長崎 子どもを守る ひまわりプロジェクト



「長崎の版画家 小崎侑先生のオリジナル作品」



県内の女性団体が連携協力し、地域の「子どもと子育て家庭の親」に声をかけ、励まし、子育てにやさしい笑顔あふれる地域社会をめざします。
長崎県看護協会は「長崎ひまわりプロジェクト」に参加しています。

令和2年度 長崎県看



公益社団法人長崎県看護協会
会長 西村 伊知恵

ごあいさつ

令和2年7月豪雨において、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対応により不安と緊張の続く中、最前線で看護を実践している皆様に敬意を表します。

私は令和2年度の通常総会において理事として選任され、総会直後の理事会で会長として承認を受け、2期目を迎えました。3つの重点目標達成に向け、冷静に状況を判断しながら事業を展開してまいります。先輩方や会員の皆様が地道に実践してきた看護の知を教訓とし、会員の皆様が看護の使命に誇りと自信をもって歩み続けられるように進んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。今の難局を共に乗り越えていきましょう。



副会長
上田 光子

2期目に入りました。新型コロナ感染症対策で、行政も医療施設も看護職の業務は増大し、それぞれの場所で体制維持に苦慮している状況だと思えます。

協会の使命である「人々の健康な生活の実現に貢献する」為に、看護職の処遇改善・確保・現場支援と課題は山積みです。施設訪問や交流会を通して会員との情報交換を密にし役割を果たしていきたいと思えます。



副会長
木下 日出美

この度、副会長という大役を担うことになり、責任の重さを痛感しております。看護のより良い未来を創造していくために、看護職の課題や会員の皆様の声を大切なものとして受け止め、看護協会の事業を推進し、その発展に尽力して参りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



副会長
日野出 悦子

この度、副会長に就任しました日野出悦子です。

副会長として、協会の事業、運営に係わらせていただくことは、大きな経験でもあります。責任の重さも感じているところです。近年、地域住民のニーズが、時代とともに複雑、多様化される中、看護職として働く現場には、多くの課題があるかと思えます。会員皆様の多くの声を聞けるような働きかけ、仕組みと一緒に、協会の事業を通して、作り上げていければと思います。御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



専務理事
新川 哲子

専務理事に就任いたしました新川哲子です。

看護協会の活動理念の一つに「看護の力を変革に向けて結集する」とあります。良い方向へ変革の兆しが見えるように進んでいければと思っています。

私の役割は、広報、災害、在宅分野が主です。広報については、会員の方の必要な情報をキャッチしやすいような工夫を考えていきたいと思えます。災害、在宅関連については、現在最も注目される分野です。看護力を発揮していくためにも、今後の社会情勢を踏まえながら、活動の一助となるように努力していきます。

護協会 新役員の紹介

職能理事



保健師職能理事
市川 ひとみ
長崎県県央保健所



助産師職能理事
大町 いづみ
長崎大学大学院
医歯薬学総合研究科



看護師職能理事
横山 藤美
社会医療法人財団
白十字会
佐世保中央病院

理事



河口 朝子
長崎県立大学



小淵 美樹子
長崎大学病院



田中 明子
長崎労災病院



谷尾 佐知子
日本赤十字社長崎原爆病院



鶴田 真由美
市立大村市民病院



山中 隆幸
大久保病院

地区理事



県南
増田 千代子
光晴会病院



県央
中尾 理恵子
個人会員



県北
山崎 純子
佐世保共済病院



下五島
眞弓 陽子
長崎県
五島中央病院



上五島
頭島 利江子
長崎県
上五島病院



壱岐
鋸崎 くみ子
長崎県壱岐病院



対馬
山田 久美子
長崎県対馬病院

監事



中村 君子
個人会員



山添 由紀子
虹が丘病院



永池 泰典
永池泰典税理士
事務所

地区支部だより



今号より各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部

支部長 増田 千代子

この度、県南地区理事(県南支部長)に就任いたしました、増田千代子と申します。もとより微力ではありますが、運営委員、委員会及び事務局の皆さんのお力を借りながら、事業運営に努力して参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

この支部だよりが発行される頃、新型コロナの状況はどうなっているのでしょうか。どの施設におかれましても、患者さん・職員を守る対策の強化に日々追われている状況だと思います。ご尽力に感謝と敬意を表します。一刻も早い収束を願うばかりです。

さて、令和2年度の県南支部事業につきましては、新型コロナの感染拡大防止のため開催を検討し、「看護の日」記念行事や「ふれあい看護体験」等、7月までの事業は中止となっております。今後の事業については、状況をみながら検討を進めて参りたいと思っております。先だって6月27日(土)に運営会議及び新旧合同委員会を開催し、引継ぎを行いました。旧運営委員・委員の皆様、本当にお疲れ様でした。そして継続される委員の方、新しい委員の方、よろしくお願いいたします。会員皆様が現場で活かせる事業内容となるよう、委員一同で頑張っていきたいと思っております。



県央支部

支部長 中尾 理恵子

令和元年度末より世界中に猛威を振るっています「新型コロナウイルス」で日々の生活にも大きな影響を受け、皆様の各職場での感染防止対策等大変ご苦労されていることと思います。看護協会活動にも支障をきたしておりますが、県央支部では縮小して、新旧委員での拡大委員会を開催することが出来ました。

私達看護職者は、新型コロナウイルスという未知の感染症や毎年多発する自然災害の状況の中で、まずは自分の安全を守りつつ、地域の人々に求められる看護職として責務を果たさなければなりません。長崎県看護協会の令和2年度の運営方針に従いつつ、この厳しい状況下の中で「出来る範囲の活動」を展開していきます。会員の皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、支部長・地区長・各委員共々、与えられた職務を全うする所存ですので会員皆様の益々のお力添え、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。なお今回、県央支部の広報委員会が無くなりましたので活動内容は県協会を通じて皆様へ広報させていただきます。

新旧運営委員



2年間ありがとうございました



皆様、ご協力お願いします！





県北支部

支部長 山崎 純子

このたび長崎県看護協会県北支部支部長に就任致しました山崎純子と申します。はじめに新型コロナウイルスに罹患された方々、感染拡大により生活に影響を受けている方々に心よりお見舞い申し上げます。そして現場の最前線で、昼夜を問わず対応に当たられている会員の皆様へ心から敬意を表します。

令和2年度の県北支部運営委員は、6名中4名が新メンバー、1名が役職交代となりました。

各委員会の前任者が準備を進めていた事業計画をみんなで協力して引き継いでいきたいと思えます。予定通りの支部活動が継続できることを祈るばかりですが、会員の皆様、地域の皆様、運営関係者の健康・安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染予防に必要な対策を講じながら事業運営に取り組んでまいります。令和2年度の教育研修も開催を延期しておりましたが、8月より開催することになりました。8月以降も9月：2年目看護職員研修会、10月：フィジカルアセスメント(呼吸)、11月：ターミナルケア、12月：排泄自立支援を予定しておりますので皆様のご参加をお待ちしています。



下五島支部

支部長 眞弓 陽子

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて私は、令和2年6月ながさき看護センターで開催されました「令和2年度長崎県看護協会通常総会」におきまして、皆様にご承認いただき、今年度より下五島支部長を仰せつかることになりました眞弓陽子と申します。就任にあたりまして、皆様にご挨拶申し上げます。今は、大役の任の重さに身が引き締まる思いであります。2年間という任期ではございますが、皆様にご支援いただきながら、本部との連携を図り、下五島で働く看護職がいきいきと働き続けられますように、新メンバーも加わった運営委員と力を合わせて努めていきたいと思えます。

今年度は、コロナ禍により、ふれあい看護体験、各種イベントなどの中止に伴い活動に制限が出ておりますが、地域における関係機関との連携・会議への出席など、計画に沿って粛々と活動を行っていきたいと思っております。

どうぞご指導、ご理解、ご協力をお願いいたします。





上五島支部

支部長 頭島 利江子

「看護のこころを伝えていく」をモットーに、上五島支部は活動しております。

今年度も、例年同様の活動を行う予定にしておりますが、新型コロナウイルスの影響により、研修や行事等の変更が続き、「まちの保健室」や「ふれあい看護体験」などが実施できない状況です。

今、地域で働く看護職・介護職で、地域住民へ何を支援できるかを考え、住民の健康増進、在宅支援など、離島ならではの看護活動を展開しなければならないと感じております。住民の健康と安全を守ること。島の看護の魅力を発信し、伝えることが、上五島支部の役割のひとつです。少しでも役割が果たせるように皆で力を合わせて頑張ります。

“夏 真っ只中”です。上五島が輝く季節です。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

今年度は新型コロナの影響で、6月20日の通常総会は残念ながら配信による参加になりました。壱岐支部会場では5名の参加で、通常総会終了後に、壱岐支部の報告会を行う予定でしたが、今年は資料による報告のみになりました。6月16日の壱岐支部報告会で新旧の役員の顔合わせを済ませ、総会終了後からは2名の新役員を迎え活動しています。残念ながら、高校生のふれあい看護体験やまちの保健室が中止となり、研修会を計画していますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大によっては、様々な事業計画の変更が余儀なくされます。新型コロナウイルスの一日も早い収束を願うばかりです。

研修会のお知らせ

・壱岐支部(離島配信)研修会

日時:10月31日(土)13:30~
場所:長崎県壱岐病院 二階第1会議室
テーマ:災害医療
講師:荒武 憲司 先生

令和2年度役員紹介



まちの保健室



・5月10日は新型コロナの影響で中止になりました。
今後の予定は分かり次第お知らせします。



対馬支部

支部長 山田 久美子

対馬支部の主な活動は、研修会、看護研究発表会の開催、看護の日、市のイベントへ参加、まちの保健室の実施などです。

昨年度の対馬支部研修会は、講師に長崎県対馬病院院長の八坂先生をお迎えし、「地域包括ケアを充実するための看護職の役割と地域連携の在り方」をテーマに開催しました。

地域包括ケアについて、対馬市の社会情勢と保健医療介護の現状、対馬市における地域包括ケアシステム構築についての在り方と5年の経過、対馬市の将来像、在宅、医療介護について述べられました。対馬市の地域包括ケアシステムの現状分析が的確であり、理解しやすい内容でした。病院医療職以外にも対馬市、介護施設からの参加もあり、活発な意見交換ができました。

地域包括ケアシステムの充実に向けて、多職種と協働している看護師が役割を認識し、支援がどのように繋がっていくのかを意識することの大切さを再認識しました。

昨年度末から、新型コロナウイルスの影響で、研修会、市のイベントも次々と中止となり、今年度の活動がどのようになるか不安ですが、運営委員を中心に自分たちのできることを確実に実施できるよう努めていきたいと思えます。



受賞おめでとうございます

令和2年度 看護事業功労者知事表彰

7月15日(水)長崎県庁において看護事業功労者知事表彰式が行われました。この表彰は、多年にわたり地域において保健衛生の向上、保健看護業務の振興に献身的な努力をし、顕著な功績があった方へ行われています。今年度は4名の方が表彰され、中村知事より表彰状が贈呈されました。

益富 美津代(聖フランシスコ病院 副看護部長)

尾上 英次郎(三和中央病院 副院長兼看護部長)

勝野 久美子(社会医療法人春回会 統括看護部長
兼長崎北病院 看護部長)

福田 妙子(長崎県看護協会研修センター 専任教員)
(五十音順)



看護師募集



この度、一緒に活動してくれるサポーターを募集することになりました。病児保育に興味のある方、退職後も免許を活かしたい方、そんなあなたを待っています。

病児保育をご存知ですか？

病気やケガで保育園や学校をお休みするお子さんを施設等で預かり、看護師や保育士が援助することをさします。

長崎県看護協会では、平成25年に雲仙市の指定を受け、看護職を派遣する訪問型の病児保育事業(病児・病後児保育サポートセンター)を行っています。



活動場所 雲仙市内

資格 看護師、准看護師 いずれかの資格を持っている方 5~10名募集

勤務形態 非常勤 月~土曜日 8時から18時まで(依頼者の希望の時間による)
病児保育依頼に応じて、半日あるいは1日活動。1日平均5時間、最大10時間

仕事内容 依頼のあった保護者の自宅において病児・病後児の援助等を行います。
対象者 0歳から小学6年生までのお子さん

給与 時給1,500円、交通費支給 協会で損害賠償保険、傷害保険に加入します。

その他 活動前には研修を行いますので、未就業者の方でも安心して活動できます。

研修内容 ①病児保育に関連した講義(疾患、薬、栄養、保育、遊び等)と見学実習(交通費支給あり)
②研修を修了した方には修了証を発行し、サポート会員として登録します。
③研修の開催時期については、後日お知らせします。

募集期間 令和2年7月~令和2年12月

【お申込み・お問合せ先】

病児・病後児保育サポートセンター 事務局 近藤 TEL:0957-25-0807



令和2年度 三職能 合同交流会



日時 令和2年10月3日(土)
13:30~16:00

場所 ながさき看護センター 4階 大会議室
離島支部会場(長崎県五島中央病院、
長崎県杵岐病院、長崎県対馬病院)

対象者 看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)
先着70名

参加費 会員:無料
非会員:500円(当日徴収)

内容 テーマ「がん治療の最新情報と地域のサポート体制」

- ・基調講演「がん治療の最新情報」講師 長崎大学病院 がん診療センター センター長 芦澤 和人 先生
- ・報告 (1)「がん患者の治療サポート、学校教育への支援について」
報告者 社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
緩和支援課 緩和ケア認定看護師 福田 富滋余 氏
- (2)「がん患者の復職支援について」
報告者 長崎県産業保健総合支援センター 保健師 山下 美和子 氏
- ・意見交換

申込み 令和2年9月18日(金)までに長崎県看護協会宛にFAXにてお申し込みください。
申込書はホームページより印刷してください。
さい。(FAX:0957-49-8056)

その他 新型コロナウイルス感染症予防のため、検温等事前に体調を確認し、必ずマスクを着用して参加してください。